

2022年12月15日

積水化成品工業株式会社（本社：大阪市北区西天満2-4-4 社長：柏原正人）は、このたび、モビリティ領域で自動車部材や部品輸送梱包材として使用される「ピオセラン」について、ラインアップを刷新しました。今後の環境ソリューションにつながる新しい品種を中心に「ピオセラン 2.0」として展開し、新規需要創出・拡販を目指します。

— ピオセラン®のラインアップを刷新、ピオセラン® 2.0を新設 —

PIOCELAN 2.0

1. 背景

「ピオセラン」は、ポリスチレンとポリオレフィンをハイブリット化した複合樹脂発泡体です。発泡体の特性である省資源・軽量化に加えて、複合樹脂として耐衝撃性・耐薬品性・耐摩耗性などの特長を併せ持ち、自動車部材や部品輸送梱包材として幅広く採用されています。

近年、持続可能な形で資源を再利用するサーキュラーエコノミーへの移行が世界的な潮流となり、「Reduce（資源使用量の削減）」「Reuse（再利用）」「Recycle（再資源化）」の3R推進は重要度が増えています。

積水化成品は、これらの変化に迅速に対応するため、このたび「ピオセラン」のラインアップを刷新しました。特に環境ソリューションにつながる新品种を「ピオセラン2.0」として、その拡充に重点をおきます。まずは、グローバルにマーケットが拡大、多様化が進むモビリティ・エレクトロニクス領域で、自動車の軽量化部材やEV部品などのリターナブル重量物梱包材、さらに使用後のリサイクルに応じていきます。



ピオセラン 2.0

2. 「ピオセラン2.0」のラインアップ

ピオセラン RNW

ReNew+

お客様から使用済みピオセランを回収し、「ピオセラン RNW」として再生、資源循環を可能としました。

ピオセラン LW（Light Weight）

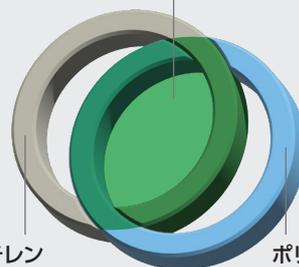
自動車部材向けに発泡倍率を45倍とし、従来品（発泡倍率35倍）から約30%の軽量化を実現しました。

ピオセラン HS（High Strength）

重量物梱包でのリターナブルニーズに応えるべく、主要な発泡倍率5～10倍における強度を20～30%高めました。

PIOCELAN 2.0

環境ソリューション
軽量化・リターナブル・リサイクル



ポリスチレン

- ・優れた剛性
- ・高発泡化しやすい
- ・優れた断熱性

ポリオレフィン

- ・優れた耐衝撃性
- ・優れた耐薬品性
- ・優れた耐摩耗性

3. 今後の展開

積水化成品グループは、持続可能な社会の実現に向けて、2050年カーボンニュートラルを目指し、CO₂排出量の削減に取り組んでいます。今後、「ピオセラン 2.0」のラインアップ拡充の開発を進める一方、モビリティ領域だけでなく、エレクトロニクス領域のリターナブルな物流梱包材や各種構造部材など、グローバルに拡販を強化・加速していきます。

- ・売上目標 : 2024年度 10億円
- ・CO₂削減効果 : 約20%（従来品比較）

以上